

大阪府防災行政無線再整備事業

	事業の概要
目的	災害時の連絡体制を確保するため、平成8～10年度に整備した防災行政無線が老朽化したため、平成24～26年度にかけて信頼性の高いネットワークに再整備する。 なお、東日本大震災等の教訓を活かし充実強化を図る。
事業計画	平成23～24年度・・・実施設計 平成24～26年度・・・整備工事
整備箇所	(計画) 256箇所(同一庁舎内の28施設含む)
概算事業費	(概算) 約118億円

再整備の内容

項目	整備内容	備考
通信能力の強化	電話回線数を増強 消防本部、自衛隊に多重無線導入	13MbpsのIP回線
迅速な気象予警報の伝達	1件を1分で伝達(迅速化)	ファクスを使った伝達から パソコンを使った伝達に
映像情報の共有	高所カメラ映像等、被害映像を配信 テレビ会議の導入	府庁、府民センター、市町 村、消防本部、自衛隊
移動無線の充実	260MHzデジタル無線の導入 (16か所の基地局)	市町村との共同利用も (調整中)

東日本大震災・台風12号の教訓による充実強化

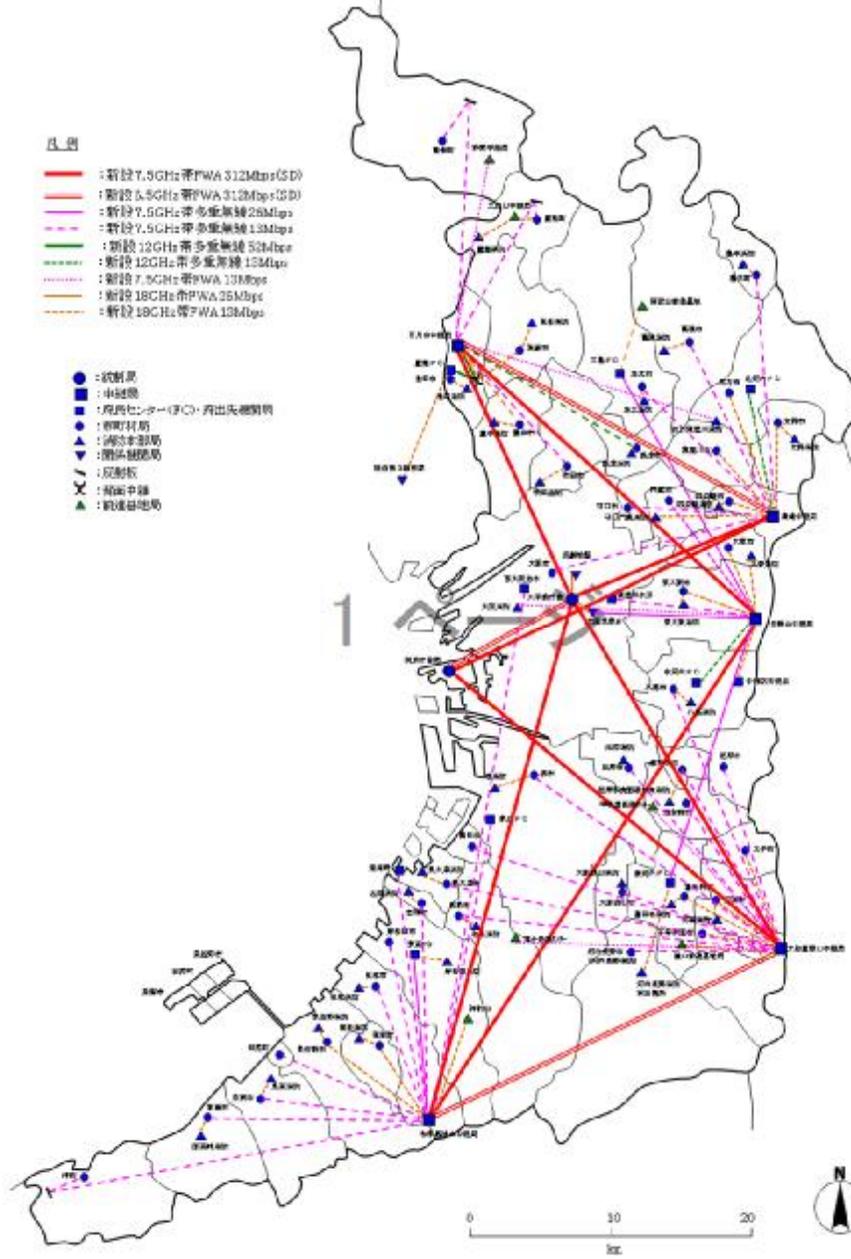
項目	強化	備考
津波浸水対策	1階に設置している無線機器、発電機等を上層階へ移設・嵩上げ	沿岸部の一部市町村等
通信の2重化 (2ルート化)	地上無線にプラスして 災害に強い衛星無線VSATを配備	無線機器の障害時にも、 通信確保
津波監視カメラ	沿岸部の5か所にカメラを設置 映像は市町村にも提供	岬町、泉南市、忠岡町、 泉大津市、大阪市内の5か所
停電対策強化	発電機の燃料3日間分に増強 (一部中継所は倍の6日間)	燃料タンクの増設・増量

再整備スケジュール

	H23年度	H24年度	H25年度	H26年度
防災センター移転 別館→新別館	実施設計	移転工事		
大手前～咲洲庁舎 先行整備	実施設計	先行整備		
第1期工事 (府庁～中継所 ～府民C)	実施設計 現地調査		第1期工事	
第2期工事 (中継所から市町村・ 消防本部等、 260デジタル)	実施設計 現地調査	実施設計 現地調査		第2期工事
充実強化工事 (津波対策、停電対策 簡易VSAT)		実施設計 現地調査	整備(第1期・第2期に合わせて)	

運用
開始

多重無線回線



260MHzデジタル無線(通信エリア想定図)

